

令和元年度 第3回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

日 時 令和2年2月27日 午後4時00分から午後5時30分

場 所 やまなみ荘

出席者 委 員：山崎智吉、望月典子、市川寿明、平田勝章、大田 譲、
小山芳孝、平田正夫、曾根原ふさ子、瀧澤早苗、藤原久紀

村 長：藤澤泰彦

事務局：松沢昌志（所長）、小坂部 元（支配人）、牛越 実（料理長）

◆あいさつ

【会長】 世間は新型コロナウイルスが台風並の勢いで吹き荒れておりますが、やまなみ荘この難局をどう運営していくのか。有意義な運営委員会にしていきたいと思います。

【村長】 新型コロナウイルス感染症の対策は、この1～2週間が山場ということで、いくつかのイベントや会議も中止で周知しているところでございます。本年度やまなみ荘はレジオネラ菌の件、また、台風19号の災害、新型コロナウイルス感染症の関係で厳しい状況で、いかに3月の赤字を減らしていくかが勝負でございます。これだけ厳しい年度は村長になって初めてでありまして、やまなみ荘は3月の定例議会で議員の皆さんにご理解いただき、一般会計から1千万円ほど繰入をしないと帯を結べない状況であります。やまなみ荘は村民の福利厚生施設でありますし、観光交流の拠点でもあります。また、雇用の場でもあり、必要な施設でありますので、委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただき、提言をいただきながら、今後もしっかり運営をしていきたいと思っております。

新運営委員の紹介（小山芳孝氏）

◆協議事項 進行：会長

（1）令和元年度の運営状況について

※所長が、令和元年度の運営状況（取組内容、会計状況、利用者数等）について資料により説明

（2）令和2年度の運営について

※所長が資料により説明

・1月の初詣ツアーはどちらのお寺を予定しているのか。

⇒近くで比較的大きく、大型（マイクロバス）が通れる仁科神明宮を予定している。今年の初日の出は棚の平公園へ行って好評だった。

・クレームとしてはどんなクレームがあるのか。

⇒最近では、とっくりの大きさに「2合とっくり」とメニューに表記したもので、内容量が2合入っていないというものがあつた。とっくりの大きさを表す呼称として使っていたのですが、2合入っていないことは確認していた。地酒祭りで表記を「大とっくり」「小とっくり」と統一したが、修正していないメニューが出てしまった。飲み放題コースでは特に問題にならないため気がつかなかったが、メニューはすぐに直した。特にひどいクレーマーはいない。

・地酒祭りの送迎は何人と決まっているのか。徹底しているのか。

⇒3名以上となっている。できれば送迎を南北合わせて1台で運行したい。説明しながら定着させたい。

・村内を1台で送迎したいことはわかるので、受付時にきちんと説明しておいてほしい。

・宴会を増やすことが必要だと思うが、どういう対策を考えているか。

⇒やまなみ荘の客層は高齢者が多い。新たな顧客を確保しなければならないが、近隣からの利用が多いので、近隣の社協や公民館等高齢者の集まる所にチラシを置くことを考えている。松川村にも評判がいいので、視野に入れて営業をしていきたい。

・宴会用の椅子が壊れそうものがある。

⇒直さなければいけない。すぐ点検します。

(3) その他

※新型コロナウイルスの関係で3月に9件キャンセルがあり、泊まり1件10名のグループ。それと日帰りで6名～15名の宴会、教育委員会の関係で14名のキャンセルです。他に情勢を見て判断したいというのが2件ほどある。

※来年度の営業日の説明。

※分煙室を2月休館日に対策工事を実施し、喫煙コーナーを区切り換気扇を設置した。

・ゲートボール場の屋根が破損しているので修理してほしい。

⇒教育委員会へ連絡する。

・人間ドックの宿泊はどの位あるのか。

⇒月によって変わる。企業によって連日続けてある場合もあり、1泊夕食で対応している。

◆閉会

終了 午後5時30分